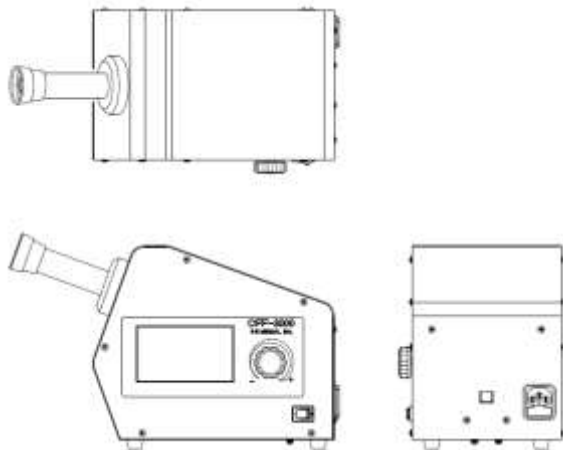


近大式中心フリッカー値測定器Ⅲ C F F - 3 0 0 0

【形状、構造及び原理等】



1. 構成 *

- | | | | |
|-----------|---|------------|---|
| 1) 本体 | 1 | 2) ダストカバー | 1 |
| 3) 予備ヒューズ | 2 | 4) USBケーブル | 1 |
| 5) 電源コード | 1 | 6) 取扱説明書 | 1 |

2. 寸法及び質量

寸法 150mm × 325mm × 204mm
質量 2.8kg

3. 電氣的定格及び分類

- | | |
|----------------|----------------|
| 1) 電源電圧・周波数 | AC100V 50/60Hz |
| 2) 定格入力 | 10VA |
| 3) 電撃に対する保護の形式 | クラスⅠ機器 |
| 4) 電撃に対する保護の程度 | B形装着部 |

4. 動作原理

点滅光は低い点滅頻度（周波数）ではちらつきを感じるが、ある限界より高いと平均化された輝度の連続光に感じられる。この限界点がフリッカー値である。
フリッカー値の大きな低下は神経節細胞から視中枢までの器質的病変を示す。小さな変動は脳の活動水準を示す。これを応用すると眼精疲労の判定ができる。
変動率が大きいほど眼精疲労が大きいと判断できる。

5. 使用環境条件 *

温度範囲 +10℃～+35℃
湿度範囲 30%～90%
気圧範囲 700hPa～1060hPa

6. 体に接触する部分の組成 *

接眼：アクリロニトリル・ブタジエンゴム (NBR) +
エチレン・プロピレン・ジエンゴム (EPDM)

【使用目的又は効果】

中心フリッカー値を測定する機器

【使用方法等】

1. 使用方法

片眼を遮蔽した被検者に接眼部から視標を覗かせたのち、

調整ダイヤルを徐々に右に回し周波数を上げていき、ちらつきがわからなくなった時点で被検者に合図させます。反対に周波数を最大に上げた状態から徐々に周波数を下げていき、今度はちらつきがわかった時点で合図させます。

【使用上の注意】

1. その他の注意 *

- 1) 精密機器なので取り扱いには十分注意すること。
- 2) 振動、衝撃（輸送時を含む）に注意すること。
- 3) 不安定な場所に設置しないこと。
- 4) 故障したときは勝手にいじらず、修理は、お問い合わせ先まで連絡すること。*
- 5) 機器は改造しないこと。

2. 廃棄

廃棄する場合は、廃棄、リサイクルに関する自治体の条例に従うこと。

【保管方法及び使用期間等】

1. 保管環境条件 *

温度範囲 -10℃～+55℃
湿度範囲 10%～95%
気圧範囲 700hPa～1060hPa

2. 貯蔵・保管

- 1) 振動、衝撃等を受けない安定した場所に保管すること。
- 2) 水のかからない場所に保管すること。

3. 耐用期間 *

正規の保守点検を行った場合に限り、納入されたときから8年(自己認証(当社データ)による) *

【保守・点検に係る事項】

1. 機器は必ず定期点検を行うこと。
2. 使用しないときは、ダストカバーを被せること。
3. 汚れた場合には、きれいな柔らかい布で拭くこと。

【主要文献及び文献請求先】

文献請求先 アールイーメディカル株式会社
TEL 06-4794-8220

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 *

製造販売業者 株式会社 東和
長野県中野市大字中野1698-2
TEL 0269-22-5181

[販売業者（販売店）]